

## 熱中症に対する対応について（お願い）

連日続いている猛暑の中、3年生にとって最後の大会が近づいてきました。熱中症で試合が中断したり、棄権したりなどということなく、無事に成功させたいため、以下のようなお願いをします。3日間、空調の効かない浜川体育館での開催になります。各チーム、選手、応援の下級生や保護者のみなさまも含め、以下のような対策を十分にしておいて、熱中症にならないよう注意をお願いします。

○顧問の先生は自校の生徒の体調をよく見て下さい。朝食をしっかりと食べたか、睡眠は十分に取っているかなど、当日の朝、良く健康観察して下さい。調子が悪そうな生徒は参加を見合わせるようにしてください。

○毎年、選手よりも応援の1年生の熱中症症状の生徒がたくさんいます。例年がない異常気象と、空調の効かない浜川体育館という条件も考えて、会場に来るメンバーを各チームで選んでください。

○塩分補給をしっかりとって、水分はこまめにとってください。

○各チーム、個人それぞれで氷や保冷剤、冷たいタオル、スポーツドリンクなどを十分に準備してください。

## 熱中症に対する対応について （大会本部としての対策）

○WBGTの数値を30分おきに計測し、31℃を越えるような場合には試合の途中でも中断して換気休憩をとる。

○2～3時間を目安に換気をして休憩する。

○風の状況も見ながら、できるだけ窓を開けて試合を行う  
（空気の入れ換えをする。）

○クーラーが入っている会議室を選手に開放し、休憩所として身体を冷やす。

○氷や氷のう、経口補水液などを十分に準備をする。

○少しでも体調が悪い選手や様子がおかしい生徒がいた場合は躊躇せず、救急車を呼んで対応する。